

第5回河川工作物 WG 概要

1 開催日時 平成18年2月22日(水) 15:45~18:50

2 開催場所 斜里町公民館ゆめホール知床(会議室1)

3 出席者

(1) 委員(五十音順、敬称略)

岡部 健士 徳島大学工学部教授

小宮山 英重 野生鮭研究所

妹尾 優二 流域生態研究所

中村 太士 北海道大学大学院農学研究科教授(座長)

丸谷 知己 北海道大学大学院農学研究科教授

(2) 関係行政機関

斜里町

羅臼町

(3) 事務局

林野庁北海道森林管理局

環境省釧路自然環境事務所

北海道

3 議題

(1) 影響評価手法の一部修正について

(2) 流出可能土砂量の評価について

(3) 平成17年度対象河川工作物の影響評価結果について

(4) 平成17年度北海道サケ科魚類遡上状況調査概要(中間報告)について

4 検討結果

平成17年度影響評価対象6河川内の河川工作物56基について、サケ科魚類の遡上に関する影響評価手法に基づいて評価した評価案を以下のとおり提案した結果、同案の「改良が適当」とする10基については、最優先的に改良を行う必要があるとの結論を得た。

① 北海道森林管理局5基(イワウベツ川)、北海道4基(ルシャ川2基、サシルイ川2基)、斜里町1基(イワウベツ川)の計10基の河川工作物は「改良が適当」。

② ①以外の46基は「現状維持が適当」。

(以上)